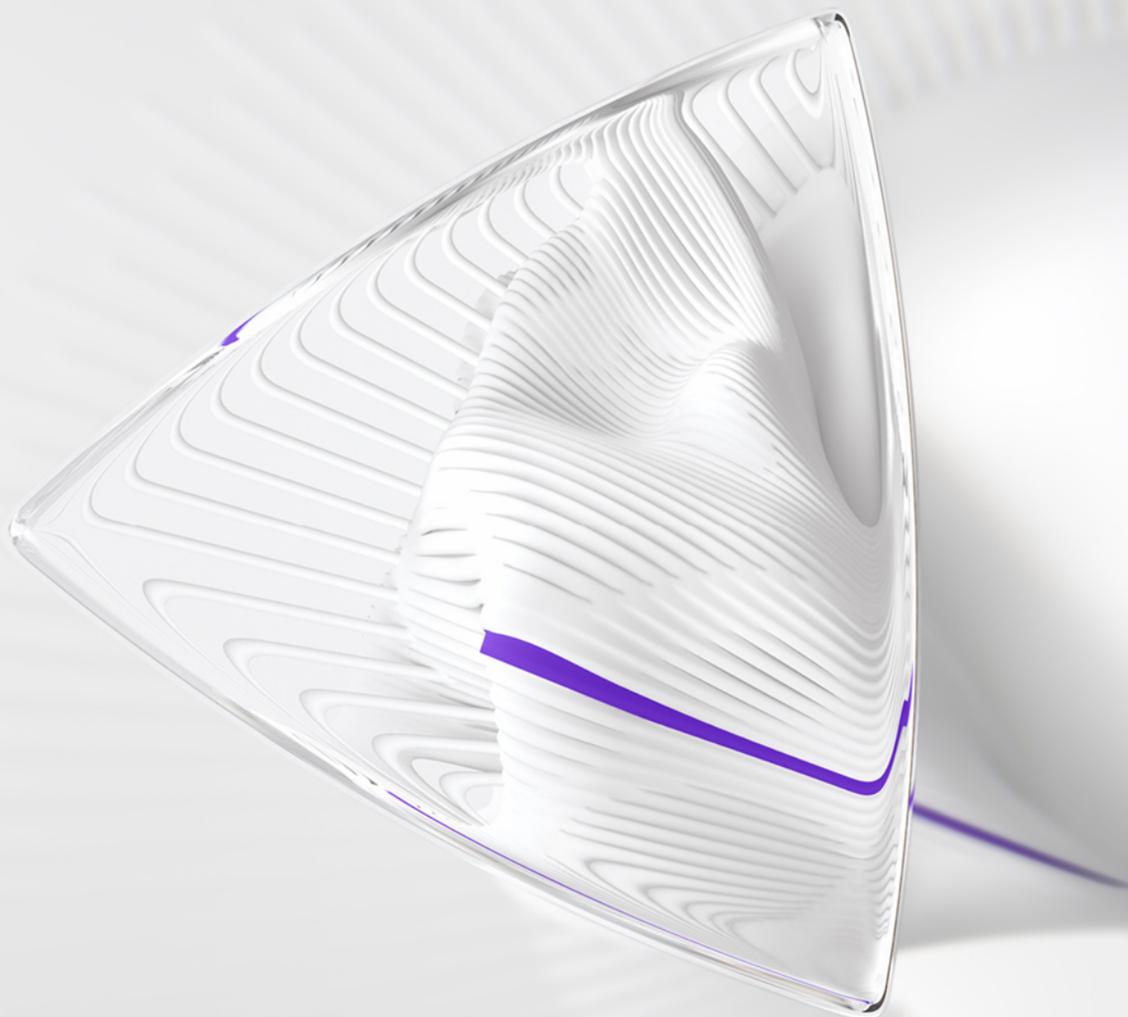




ScholarOne Manuscripts リリースノート

2022 年第 4 四半期リリース



概要

ScholarOne 製品チームはセキュリティ、パフォーマンス、ユーザーエクスペリエンスの継続的な改善に積極的に取り組んでいます。以下では、このリリースにおけるプラットフォームとツールの主な改善、不具合の修正と最適化について説明します。

また、デフォルトの構成値に関する情報と各機能の構成手順も示します。新機能の中には、管理者または ScholarOne の担当者が有効にしなければ使用できない機能もあります。許可や構成に関するご質問は、発行者チームまたは ScholarOne にお問い合わせください。

ワークフローの変更は影響するすべてのユーザーに伝えてください。

本リリースに記載された事項についてご不明な点がございましたら、ScholarOne 製品サポート (s1help@clarivate.com) までお問い合わせください。

内容

1. クライアント構成センターでの iThenticate V2 の設定調整
2. iThenticate V2 類似度チェックレポートへの変更の自動保存
3. Elastic のアップグレード
4. 査読者検索結果のページネーション
5. カスタム質問依存のページの自動更新
6. カスタム質問の構成の更新
7. API サービス: 編集者の却下理由
8. 通知サービス: 差し戻し通知
9. 通知サービス: 依頼著者応答
10. 投稿の統合: 作業履歴への Eメールの追加
11. 投稿の統合: 論文のロックアイコン
12. 主な問題と機能の最適化

2022 年第 4 四半期リリース更新

1. クライアント構成センターでの iThenticate V2 の設定調整

更新されたクライアント構成センターに盗用検査ページが追加され、クライアント構成センターへのアクセス権を持つユーザーが iThenticate V2 の設定を調整できるようになりました。以前は、統合が管理者アクセス権で初期設定されている場合、構成の調整は管理者が管理者ダッシュボードから行うしかありませんでした。これをクライアント構成センターに移すことで、パワーユーザーがサポートに連絡することなくレポート生成設定を更新できるようになり、より柔軟に対応できるようになります。

ユーザー:

管理者

必要なアクション

まず最初に iThenticate V2 の統合を有効にして、資格情報を入力する必要があります。V1 から V2 へのアップグレードや新しいサイトでの V2 の有効化についてご不明な点は、ScholarOne サポートにお問い合わせください。

詳細と構成

1. クライアント構成センターに移動します
2. [このサイトを構成] に移動して、ステップ 16 の [盗用検査] をクリックします
3. 適宜選択を行い、類似度レポートをサイトで生成する方法を定義します

備考: Turnitin URL や API キーのフィールドを変更しないでください。変更すると、サイトの統合が解除され、類似度レポートが生成されなくなります。

2. iThenticate V2 類似度チェックレポートへの変更の自動保存

[類似度レポート] ポップアップウィンドウの変更を自動保存する構成オプションが追加されました。このオプションをオンにすると、レポートに対して行われたすべての変更は、ウィンドウが閉じられたときに保存され、レポートが再び開かれたときに復元されます。ユーザーが加えた変更はすべて保存され、ユーザーがレポートを再度開いたときに（誰が開いても）、レポートに加えられた最後の変更セットが復元されます。レポートに対する変更には、除外フィルターや検索リポジトリの調整が含まれる場合があります。

ユーザー:

編集者

管理者

必要なアクション

iThenticate V2 の統合がアクティブなサイトでは、リリース時にデフォルトで構成がオンになります。将来 V2 を有効にするサイトの場合、構成はデフォルトでオフになります。

詳細と構成

1. クライアント構成センターに移動します
2. [このサイトを構成] に移動して、ステップ 16 の [盗用検査] をクリックします
3. [類似度レポート] ポップアップで [変更の保存] の選択を更新します

Similarity Report generation settings

Index submissions ?

Exclude quotes ?

Exclude bibliography ?

Exclude abstract ?

Exclude methods ?

Exclude internet ?

Exclude publications ?

Exclude submitted works ?

Exclude citations ?

Exclude preprints ?

Exclude custom sections ?

Exclude small matches ?

Select search repositories ?

- Publication
- Internet
- Crossref Posted Content
- Submitted Work

Save changes in the Similarity Report popup ?

Selecting this option will automatically save all changes made by all users in the Similarity Report popup.

Viewer Permissions

3. 「検索」テクノロジーのアップグレード

ScholarOne Manuscripts で使用する検索エンジンテクノロジー（Elasticsearch）を新バージョンにアップグレードしました。Elasticsearch は、研究分野、キーワード、重複投稿チェックなど、S1M の様々な検索に利用されています。

今回のアップグレードの利点:

- 検索クライアントの改善: S1M では、検索結果の微調整が可能になり、エンドユーザーにとってより質の高い検索結果を得ることができます。
- サポート: S1M は、Elasticsearch のテクニカルサポートと解決に特化したクラリベイトの中央チームによるサポートを受けることができます。
- メンテナンス: このアップグレードには検索に関する問題を監視し、発生した問題を迅速に特定するために開発されたいくつかの内部メンテナンスツールが含まれます。

- セキュリティ: このアップグレードにより、システムのセキュリティが強化され、潜在的な脅威に対して脆弱な部分が強化されます。
- 今後の改善: S1M は、今回のバージョンアップにより、将来的に他の検索機能を開発・改良することが可能になります。

ユーザー:

編集者	管理者	開発者
<p>必要なアクション</p> <p>移行計画に従って、デフォルトで使用可能になります。構成は不要です。</p>		

詳細と設定

アップグレードによって改善される領域:

1. キーワードと研究分野: ユーザーが選択したキーワードとユーザーが入力した研究分野を元にデータを作成します。

キーワードと研究分野検索 ⓘ

この機能は、ユーザープロフィールに入力されているキーワードや [研究分野] フィールドに入力されているフリーテキストで著読者を検索します。

Keywords

AND ▼

研究分野:

検索: 選択

備考: 複数の検索語を検索する場合は、AND や OR などの検索演算子で連結してください。使用可能な演算子は、*、AND、OR、NOT、(、)、?、~、"、^、+、-、|| です。

表示順

最優先するソート順: 関連 ▼ 降順 ▼

次に優先するソート順: 氏名 (姓、名) ▼ 昇順 ▼

2. 重複投稿チェック: 文書 (重複文書) 検索のデータは、文書の詳細検索で使用できるフィールドに基づきます。

重複投稿チェック

この機能は、このサイトへのその他の投稿を検索して、論文タイトルと著者の両方の関連度 (%) が表示されるため、重複の可能性がある投稿を特定できます。タイトルと著者リストの両方で関連度 (%) が最も高い論文が先頭に表示されます。

重複投稿チェックの実行

[↑ トップ](#)

4. 査読者リストのページネーション

査読者リストにページネーションを追加し、一度に 10 レコードのみ表示するようにしました。

従来、論文に多数の査読者がいる場合、ゲートウェイタイムアウトエラーが繰り返し発生し、編集者/管理者が論文にアクセスできなくなることがありました。このページネーションを追加することで、この問題のゲートウェイタイムアウトエラーがなくなり、大規模なリストがより管理しやすくなります。

ユーザー:

編集者

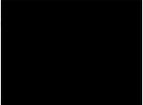
管理者

必要なアクション

デフォルトで使用可能です。構成は不要です。

詳細と設定

査読者リストで論文に対して 10 人以上の査読者が選択/招待/返答された場合、編集者/管理者は 1 ページにすべてのレコードを表示するのではなく、ページをめくって表示するようにしました。

直読者 リスト				
順番	名前	ステータス	履歴	削除
1		辞退済み もう一度招待	依頼日: 2022-10-18 辞退済み: 2022-10-18 履歴の表示	<input type="checkbox"/>
2		同意済み	依頼日: 2022-10-18 同意済み: 2022-10-18 提出期限: 2022-11-17 直読経過日数: 0 日	<input type="checkbox"/>

5. カスタム質問依存の自動更新

回答に依存関係が設定されているカスタム質問について、自動更新機能を追加しました。

ユーザー:



必要なアクション

デフォルトで使用可能です。構成は不要です。

詳細と設定

カスタム質問には依存関係を構成することができます。つまり、ユーザーがカスタム質問に対して特定の回答を選択すると、システムは（構成に基づいて）その回答に固有の別の質問を表示することができます。

以前は、この依存性のある質問は、手動でページを更新した後、または新しいページにしか表示されませんでした。新しい自動更新機能では、依存関係に関連する回答を選択すると、ページが直ちに更新され、ユーザーが回答できるように依存関係の質問が表示されます。

Would you like to respond to this hypothetical question?

Yes

No

You selected "No." Why is that?

After the user clicks "no," the page will automatically refresh, and this dependent question/the associated response option will be displayed after the refresh.

6. 決定/評価カスタム質問の「必須」表示の更新

決定カスタム質問の「必須」表示を更新し、「必須」のマークが質問の横にのみ表示されるようにしました（すべての回答オプションの横に表示されなくなりました）。

ユーザー:

編集者

管理者

必要なアクション

デフォルトで使用可能です。構成は不要です。

詳細と設定

決定タスクのチェックボックスの質問に複数の回答が設定されている場合、「必須」のマークまたは赤いアスタリスクは質問の横にのみ表示されます。

スクリーンショット待機中

7. API サービス: タスクのカスタム質問

getSubmissionFull V6 API にタスクベースのカスタム質問用のデータを追加しました。

ユーザー:

開発者

必要なアクション

この API を利用するには、当人が ScholarOne Web Services のクライアントである必要があります、V6 へのアップグレードが必要です。この API の使用方法の詳細については、アカウントディレクターにお問い合わせください。

詳細と設定

- カスタム質問は、関連するタスク（チェックリスト、スコアシート、評価など）とともに、「タスク」のサブオブジェクトとして出力されます
- タスクのステータスに関係なく、完了済みのタスクも含めてすべてのタスクが対象となります
- XML 形式のデータは文書タスク ID の順に出力されます

出力の例:

```
<task>
  <datetimeCompleted>2022-07-05T19:03:21Z</datetimeCompleted>
  <datetimeDue>2022-07-27T16:14:12Z</datetimeDue>
  <datetimeDueNew>2022-07-15T17:55:41Z</datetimeDueNew>
  <datetimeExtension>2022-07-15T17:55:41Z</datetimeExtension>
  <datetimeStarted>2022-06-27T16:14:12Z</datetimeStarted>
  <taskCustomQuestions>
    <answerType>TYPE_CHECKBOX</answerType>
    <customQuestionId>30198</customQuestionId>
    <questionName>Reason(s) for Rejection (select all that apply)</questionName>
    <questionStatus>ACTIVE</questionStatus>
    <questionText>Reason(s) for Rejection (select all that apply)</questionText>
    <taskCustomAnswer>
      <abbreviatedResponse></abbreviatedResponse>
      <answerId>31816</answerId>
      <answerName>Not a Reject Decision</answerName>
      <answerStatus>ACTIVE</answerStatus>
      <answerText>Not a Reject Decision</answerText>
    </taskCustomAnswer>
  </taskCustomQuestions>
  <taskId>49358060</taskId>
  <taskName>AE Decision</taskName>
  <taskStatus>COMPLETED</taskStatus>
  <taskStatusName>Make AE Decision</taskStatusName>
</task>
```

8. 通知サービス: 差し戻し通知

論文に対するタスクが差し戻された場合に送信される新しいシステムイベント通知を追加しました（査読者スコア、評価、および決定タスクのみ有効）。

ユーザー:

管理者

開発者

必要なアクション

既存のすべての Web サービスクライアントに表示されます。Web サービスクライアントでない場合、詳細については、アカウントディレクターにお問い合わせください。

詳細と構成

統合ダッシュボードから、[通知サービス登録] に移動します。以下に構成の例を示します。

The screenshot shows a window titled "通知の追加" (Add Notification). It contains a list of tasks and a dropdown menu for the status.

タスク:

- 管理者チェックリスト (投稿日 論文ワークフロー)
- 管理者チェックリスト (再投稿済み 論文ワークフロー)
- 管理者チェックリスト (修正済み 論文ワークフロー)
- 著作権追跡 (投稿日 論文ワークフロー)
- 著作権追跡 (再投稿済み 論文ワークフロー)
- 著作権追跡 (修正済み 論文ワークフロー)
- 著作権追跡 (受理 論文ワークフロー)
- 著作権完了 (投稿日 論文ワークフロー)
- 著作権完了 (再投稿済み 論文ワークフロー)

ステータス:

- 終了中
- 差し戻し時
- 開始済み
- 保留
- 失敗

追加

9. 通知サービス: 依頼著者応答

著者が投稿の招待に応答した場合に送信される新しいシステムイベント通知を追加しました。

ユーザー:

管理者

開発者

必要なアクション

既存のすべての Web サービスクライアントに表示されます。Web サービスクライアントでない場合、詳細については、アカウントディレクターにお問い合わせください。

詳細と構成

統合ダッシュボードから、[通知サービス登録] に移動します。以下に構成の例を示します。

分野: システムイベント

システムイベントの追加

- Account Removed by User Request (アカウント関連)
- Publon クレジットの取得成功通知 (アカウント関連)
- User Account Modification Notification (アカウント関連)
- アカウントの統合通知 - プライマリアカウント以外宛 (アカウント関連)
- 依頼著者応答 (依頼著者/特集記事)**
- 依頼著者通知 (依頼著者/特集記事)
- 依頼論文が削除されました (依頼著者/特集記事)
- 依頼論文スタブ作成 (依頼著者/特集記事)
- 投稿受付時の即時不採用・転送通知 (著者/共著者)
- External System First Look Successfully Ingested (著者/共著者)

+ 追加

10. 投稿の統合*: 作業履歴への Eメールの追加

投稿の統合が設定されているサイトの場合: 外部の Eメール対応を、外部の統合プラットフォームを介して SIM の作業履歴に提供する機能を追加しました。

ユーザー:

開発者

必要なアクション

投稿の統合を利用するすべてのユーザーがデフォルトで利用できます。

詳細と構成

- 投稿パッケージの一部として、JATS XML に特定のフィールドを渡すことができ、作業履歴に Eメールの対応を追加することができます。

XML 形式の例:

```
<article-meta>
<audit-trail-group>
  <audit-trail>
    <datetime-sent>2022-07-04T15:56:24</datetime-sent>
    <to-email>author-email@don-not-send.com</to-email>
    <from-email>sender-email@do-not-send.com</from-email>
    <subject>Email Subject</subject>
    <body>This contains the body of the email</body>

    <attached-file-name>author response 7-7-22.docx</attached-file-name>
  </audit-trail>

  <audit-trail>
    <datetime-sent>2022-07-02T15:56:24</datetime-sent>
    <to-email>author-email2@don-not-send.com</to-email>
    <from-email>sender-email2@do-not-send.com</from-email>
    <subject>Email Subject2</subject>
    <body>This contains another body of the email</body>
  </audit-trail>
</audit-trail-group>
<supplementary-material specific-use="Audit Trail" xlink:href="author response 7-7-22.docx"/>
</article-meta>
```

* 投稿の統合とは、発行者ポータルやプレプリントサーバーなどの外部システムが雑誌サイトに論文をプッシュできるようにする ScholarOne の機能セットです。

11. 投稿の統合*: 論文のロックアイコン

投稿の統合が設定されているサイトの場合: 論文がロックされた状態のときに論文 ID の横に表示される南京錠のマークを追加しました。このマークは、論文が変更できないようにロックされているか、それとも著者が編集できる状態なのかを示すものです。

ユーザー:

編集者

管理者

必要なアクション

投稿の統合を利用するすべてのユーザーがデフォルトで利用できます。

詳細と構成

南京錠のマークは、以下の各ページで論文 ID の横に表示されます。

- 論文の表示
- 検索結果リスト
- 論文詳細ヘッダー

トラッキングナンバー 論文 ID	タイトル	割り当て済みユーザー	ステータス	作業を行う
	著者		提出期限	すべて選択 <input type="checkbox"/>
123 	Stub test	副編集者: 未定 編集長: 未定 管理者: 未定	* 著者投稿待ち (期限 2022-10-19)	選択... <input type="button" value="v"/>
	Yang, lei		2022-10-19	<input type="checkbox"/>

* 投稿の統合とは、発行者ポータルやプレプリントサーバーなどの外部システムが雑誌サイトに論文をプッシュできるようにする ScholarOne の機能セットです。

12. 主な問題修正と機能の最適化

備考: ScholarOne では、リリースとリリースの間に数多くのパッチやホットフィックスを配布し、ユーザーにプラットフォームの継続的な改善を提供しています。これらの多くは、プロセスを最適化するために内部のチームが行っているもので、ワークフローには影響しません。これらの変更についてご質問がある場合は、サポートにお問い合わせください。

- 決定タスクでカスタム質問に関連する E メールタグが機能しない
決定カスタム質問の E メールタグが、送信された E メールで機能しなかった問題を解決しました。
- 構成作業履歴にアクセスしようとするシステムタイムアウトが起きる
構成作業履歴ファイルをダウンロードしようとするシステムがゲートウェイタイムアウトエラーを返す問題を解決しました。
- 差し戻された投稿から論文ファイルを削除しようとする盗用検査エラーが発生する
投稿が処理のために iThenticate へ送信されていた場合、著者が未投稿論文からファイルを削除できなかった問題を解決しました。
- 新たに iThenticate と統合されたサイトに iThenticate 構成ツールが表示されない
iThenticate と初めて統合されたサイトに対して、「iThenticate 構成ツール」とその後の盗用検査の「履歴」リンクが表示されない問題を解決しました。
- 管理者/編集者がスコアシート、評価、または決定に関するカスタム質問の回答を更新したときに作業履歴が更新されない
管理者/編集者がカスタム質問の回答を変更したときに作業履歴に記録されない問題を解決しました。

クラリベイトについて

Clarivate™は、イノベーションを加速する信頼性の高い知見や分析を提供する、世界的リーディングカンパニーです。当社の使命は、新しいアイデアから人生を変えるような発明を生む時間を短縮するための、実用的な情報とインサイトを提供することにより、お客様が抱える難題を解決できるよう支援をすることです。サイエンスや知的財産の分野において、基盤となる研究やアイデアから保護、そして商業化に至るまで、イノベーションのライフサイクル全体をカバーする深い専門知識を備えたサブスクリプションおよびテクノロジーベースのソリューションを提供しています。詳細については、clarivate.com/jaをご覧ください。

お問い合わせ:

+1 215 386 0100 (米国)

+44 (0) 20 7433 4000 (ヨーロッパ)

clarivate.com/ja

© 2022 ClarivateClarivate とそのロゴ、およびここで使用されている他のすべての商標は、それぞれの所有者の商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。